



news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成23年2月期第1四半期決算概況 営業収益91億91百万円、経常利益6億73百万円、四半期純利益7億80百万円

※当社は、当第1四半期より個別財務諸表のみ作成しております。前年同期の比較対象としては、前第1四半期連結財務諸表数値を使用しております。

ポケットカード株式会社(8519)の平成23年2月期第1四半期決算は、割賦購入あっせん部門及びプロセシング部門が順調に推移したものの、貸金業法完全施行に備えた与信の厳格運用等により融資収益が減少した結果、営業収益全体では91億91百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

一方、業務全般に亘る効率化の推進やコスト削減に努めたことに加え利息返還関連費用が減少した結果、営業費用は85億17百万円(前年同期比12.0%減)と減少し、営業利益は6億73百万円、経常利益は6億73百万円、四半期純利益は7億80百万円となりました。

割賦購入あっせん部門につきましては、個人消費の持ち直し等の影響によりクレジットカードショッピング取扱高が707億46百万円(前年同期比5.6%増)と堅調に推移したことに加え、ショッピングリボ推進に向けた各種サービスの拡充に努めた結果、ショッピングリボ残高は338億58百万円(前年同期比28.1%増)と増加し、営業収益は前年同期に比べ3億10百万円増加の23億64百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

プロセシング部門につきましてはプロセシング受託件数の増加、並びに保証債務残高が475億9百万円(前年同期比38.9%増)と拡大したことにより、営業収益は前年同期に比べ3億18百万円増加の11億12百万円(前年同期比40.1%増)となりました。

一方、融資部門につきましては、貸金業法完全施行に備えた与信の厳格運用等の影響により、融資残高が1,224億69百万円(前年同期比10.2%減)と減少した結果、営業収益は前年同期に比べ10億38百万円減少の53億97百万円(前年同期比16.1%減)となりました。

以上の結果、営業収益全体では91億91百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

営業費用につきましては、業務全般に亘る効率化の推進やコスト削減に努めたことに加え利息返還関連費用が減少した結果、営業費用全体では85億17百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

以上の結果、営業利益は6億73百万円、経常利益は6億73百万円、四半期純利益は7億80百万円となりました。

【単位：百万円】

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成23年2月期 第1四半期	9,191	673	673	780
平成22年2月期 第1四半期	9,598	△78	△79	△57
前年同期比	△4.2%	—	—	—

以上